

最近の県経済動向

Fukushima Economic Performance Monthly

平成14年4月22日



うつくしま、ふくしま。

福 島 県

目次

1	最近の県経済動向	1
2	福島県の主要経済指標	3
	個人消費	
	大型小売店販売額 乗用車新規登録台数	3
	建設需要	
	新設住宅着工戸数 公共工事請負金額 業務用建築物着工棟数	3
	生産活動	
	鉱工業生産指数 投資財生産指数 消費財生産指数	4
	鉱工業出荷指数 鉱工業在庫指数	
	大口電力使用量 大口電力契約量	5
	雇用・労働	
	新規求人倍率 有効求人倍率	5
	有効求人数 有効求職者数 雇用保険受給者実人員 現金給与総額指数	6
	所定外労働時間指数 常用雇用指数 パートタイム労働者比率	7
	物価	
	卸売物価指数 消費者物価指数	7
	企業・金融	
	企業倒産件数・負債総額 金融機関預貸残高 貸出約定平均金利	8
	中小企業業況判断DI	9
	市場	
	株式 円相場	9
3	景気動向指数（福島県）	10
4	中小企業経営動向調査（（財）福島県産業振興センター）	11
5	中小企業景況レポート（福島県中小企業団体中央会）	12
	（参考）	
1	福島県金融経済概況	14
2	月例経済報告	14

注

現金給与総額指数、所定外労働時間指数、常用雇用指数については、平成12年基準に遡及改訂していません。

お願い

本統計表から抜粋又は新たに資料を作成して利用する場合は、『福島県 最近の県経済動向から抜粋（又は作成）』と御記入くださるようお願いいたします。

福島県企画調整部電子社会推進・統計室
統計分析グループ
〒960-8670 福島市杉妻町2番16号
電話 024(521)7143
FAX 024(521)7914

1 最近の県経済動向

県内の景気は、生産活動の一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、依然として個人消費や雇用情勢が低迷し、厳しい状況が続いている。

(1) 個人消費

大型小売店販売額(2月)は総額約171億円で、前年同月比(店舗調整後)7.4%の減少となり、12年10月を除き9年9月から前年割れが続いている。

内訳をみると、百貨店は衣料品、飲食料品、家庭用品、その他の商品で前年を下回ったため、同8.9%の減少となった。一方、スーパーもすべての商品が前年を下回ったため、同7.0%の減少となった。スーパーでは厳しい状態が長期にわたって続いている。

乗用車新規登録台数(3月)は11,359台で、前年同月比6.2%の減少となった。

内訳をみると、小型車、軽自動車は前年を上回ったが、大型車、中型車は下回った。

(2) 建設需要

新設住宅着工戸数(2月)は総戸数1,049戸で、前年同月比3.8%の減少となった。

内訳をみると、貸家は5か月連続で前年を上回っていたが、前年割れに転じた。持家は12年11月から前年割れが続いている。

公共工事請負金額(3月)は総額約388億円で、前年同月比23.8%の減少となった。

内訳をみると、国の機関、地方の機関からの発注とも前年を下回った。

4月からの累計では、前年度比7.2%の減少となった。

業務用建築物着工棟数(2月)は103棟で、前年同月比9.6%の減少となった。

内訳をみると、商業用、サービス業用は上回ったが、鉱工業用は前年を下回った。

(3) 生産活動

鉱工業生産指数(2月)は92.2で、前年同月比6.3%の低下となり、13か月連続で前年を下回ったが、マイナス幅が次第に縮小してきている。なかでも、電気機械は13か月ぶりに前年を上回った。

投資財生産指数(2月)は81.4で、資本財、建設財とも前年を下回ったため、前年同月比10.5%の低下となった。

消費財生産指数(2月)は98.0で、耐久消費財、非耐久消費財ともに前年を下回り、前年同月比7.4%の低下となった。

出荷指数(2月)は103.1(前年同月比0.9%)、在庫指数(2月)は99.8(同10.9%)となった。

大口電力使用量(2月)、大口電力契約量(2月)は、ともに前年を下回った。

(4) 雇用・労働

新規求人倍率(2月)は0.79倍で、前月から0.06ポイントの上昇となった。

有効求人倍率(2月)は0.40倍で、前月から0.01ポイントの上昇となった。

雇用保険受給者実人員(2月)は20,606人となり、5か月連続で20,000人台となった。

現金給与総額指数(名目)(2月)は80.8で、2か月連続で前年同月を下回った。

所定外労働時間数(2月)は88.5で、10か月連続で前年同月を下回った。

常用雇用指数(2月)は96.6で、11年2月以降、前年同月を下回る動きが続いている。

(5) 物価

卸売物価指数(全国・3月)は94.4で、前年同月比で1.3%の低下となり、下落幅は前月と同水準となった。

消費者物価指数(福島県・2月)は97.9で、前年同月比1.9%の低下となり、下落幅が拡大している。

(6) 企業・金融

企業倒産(3月)は、件数は13件で前年同月比40.9%の減少となった。負債総額は40億1700万円で前年同月比12.6%の減少となった。

倒産件数を業種別にみると、製造業が5件で最も多くなっている。また、理由別では販売不振が10件と大半を占めている。

金融機関預金残高(2月)は総額5兆6240億円で、前年同月比3.0%の減少となった。一方、貸出残高は総額3兆8686億円で、前年同月比3.2%の減少となった。

貸出約定平均金利(2月)は、2.298%となり前月と同水準となった。

(7) 中小企業の業況

県内中小企業の業況感を表すDI値(3月)は51.0で、前月の61.7に比べて10.7ポイントの改善となった。

業種別にみると、製造業、小売業で10ポイント以上の改善となったほか、すべての業種で前月よりも改善した。

2 福島県の主要経済指標

区分 年月	個人消費				建設需要					
	1 大型小売店販売額		2 乗用車新規登録台数		3 新設住宅着工戸数		4 公共工事請負金額		5 業務用建築物着工棟数	
	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国	福島県	全国
	(百万円)	(億円)	(台)	(千台)	(戸)	(千戸)	(百万円)	(億円)	(棟)	(棟)
H10年	286,403	232,485	75,399	4,093	17,590	1,198	604,522	264,407	2,253	85,072
11	277,727	231,244	76,549	4,154	16,499	1,215	487,006	240,212	1,863	75,725
12	263,011	226,326	80,969	4,260	15,828	1,230	407,510	209,317	1,863	81,313
13	250,066	223,363	79,253	4,290	15,010	1,174	378,117	192,976	1,621	75,215
12年9月	19,817	16,395	7,519	386	1,305	106	34,995	19,877	153	6,908
10	22,340	18,926	6,077	323	1,410	105	38,651	20,122	181	6,876
11	19,884	18,536	6,579	353	1,349	107	32,467	15,271	185	6,709
12	28,439	25,726	5,850	335	1,360	110	35,360	14,422	171	6,554
13年1月	22,896	19,463	5,054	267	915	81	14,961	9,813	115	5,748
2	19,475	15,899	7,348	388	1,091	83	24,383	10,489	114	5,565
3	22,612	18,718	12,107	600	918	95	50,951	31,075	99	5,891
4	21,142	18,066	5,615	295	1,428	100	35,253	20,360	170	6,345
5	20,546	17,914	5,518	300	1,230	100	21,381	12,977	146	6,494
6	19,349	17,738	6,900	387	1,345	101	38,515	16,335	155	7,056
7	21,264	20,653	7,069	405	1,449	103	44,079	18,496	151	7,122
8	19,995	16,938	4,680	269	1,119	105	37,653	15,921	138	6,675
9	18,129	16,551	7,539	377	1,451	103	34,551	17,964	142	6,286
10	19,262	17,874	5,804	321	1,455	102	46,156	20,214	153	6,228
11	19,471	18,640	6,219	345	1,303	106	23,617	14,388	137	6,073
12	25,927	24,910	5,400	336	1,306	95	29,327	12,744	101	5,732
14年1月	r 21,275	r 19,266	5,404	281	996	84	13,563	9,612	121	5,086
2	P 17,096	P 15,173	6,765	394	1,049	86	15,184	8,672	103	4,946
3			11,359	585			38,838	25,293		
	対前年同期(月)上昇率(%)									
H10年	9.7	4.4	8.6	8.9	8.5	13.6	22.9	11.7	10.7	17.0
11	5.0	4.3	1.5	1.5	6.2	1.4	19.4	9.2	17.3	11.0
12	2.7	4.6	5.8	2.6	4.1	1.3	16.3	12.9	0.0	7.4
13	4.3	3.0	2.1	0.7	5.2	4.6	7.2	7.8	13.0	7.5
12年9月	2.9	5.0	2.2	0.8	1.0	3.1	7.6	10.8	13.1	8.2
10	4.4	4.7	6.0	4.0	14.4	1.5	12.9	18.6	13.1	8.6
11	1.8	4.1	1.2	2.9	11.4	2.2	8.0	7.9	24.2	8.6
12	4.4	5.5	9.8	3.3	3.5	10.6	21.1	0.7	0.6	1.0
13年1月	2.4	2.6	4.0	2.3	15.5	11.1	38.2	17.1	7.5	0.5
2	2.6	5.0	2.5	0.2	18.0	5.9	13.1	16.0	24.5	8.5
3	3.8	2.9	1.8	0.7	19.1	1.4	3.8	15.9	27.2	5.4
4	4.2	3.6	2.2	0.9	7.6	7.2	68.0	4.7	19.7	6.5
5	5.3	3.2	0.1	2.1	0.4	0.2	35.2	23.5	0.0	4.3
6	2.3	1.9	4.8	0.9	14.8	10.5	13.1	7.1	1.9	8.0
7	2.4	3.1	2.0	7.3	6.3	1.4	4.1	4.7	20.5	7.9
8	3.5	3.2	1.5	5.5	17.3	1.1	19.6	4.1	3.5	8.2
9	3.0	0.7	0.3	2.3	11.2	2.9	1.3	9.6	7.2	9.0
10	11.5	7.1	4.5	0.4	3.2	3.3	19.4	0.5	15.5	9.4
11	4.1	0.7	5.5	2.1	3.4	1.2	27.3	5.8	25.9	9.5
12	6.0	2.6	7.7	0.5	4.0	12.9	17.1	11.6	40.9	12.5
14年1月	3.9	2.1	6.9	5.2	8.9	3.5	9.3	2.0	5.2	11.5
2	7.4	4.7	7.9	1.6	3.8	2.8	37.7	17.3	9.6	11.1
3			6.2	1.8			23.8	18.6		
備考	百貨店とスーパーの計 前年同期(月)比は店舗調整後		大型、中小型、軽乗用車の計 自動車販売店協会(新車登録 台数実績表)		持家、貸家、給与住宅、分譲 住宅の計 県建築住宅課 国土交通省		年表示は、年度ベース 国の機関と地方の機関の計 保証事業会社協会(公共工事 前払金保証統計)		鉱工業用、商業用、サービス業用 の計 建設統計月報 国土交通省	
資料 出所	経済産業省(商業動態統計 調査)		軽自動車協会							

rは訂正値、Pは速報値

区分 年月	生産活動									
	6 鉱工業生産指数		7 投資財生産指数		8 消費財生産指数		9 鉱工業出荷指数		10 鉱工業在庫指数	
	福島県	全 国	福島県	全 国	福島県	全 国	福島県	全 国	福島県	全 国
H10年	97.7	98.5	86.5	96.7	106.8	100.7	104.7	99.8	131.5	105.1
11	98.6	99.3	83.2	92.9	111.2	101.3	106.1	101.1	136.5	96.0
12	101.6	105.2	87.1	97.8	111.8	102.7	108.2	107.3	147.9	95.4
13	94.5	96.9	80.1	91.9	108.9	99.2	104.7	99.2	111.9	98.0
12年9月	105.3	110.2	97.7	111.5	112.9	104.1	109.7	115.9	141.3	91.6
10	106.2	108.1	89.7	96.1	116.8	107.3	110.7	108.2	150.3	95.6
11	105.4	108.2	91.4	99.3	117.4	107.1	109.6	109.6	143.9	96.7
12	106.4	107.3	101.1	101.3	115.4	105.7	114.9	110.5	134.0	94.4
13年1月	93.8	95.4	81.8	88.9	93.3	88.2	97.0	95.4	120.1	99.2
2	98.4	101.2	90.9	99.8	105.8	98.6	104.0	103.2	112.0	100.8
3	105.7	114.4	101.8	130.0	120.7	109.6	114.2	122.5	111.3	94.2
4	93.5	97.1	68.0	88.1	106.9	100.0	101.1	96.7	118.8	97.8
5	93.7	93.8	75.9	83.8	110.5	97.2	100.8	93.5	121.0	101.0
6	96.8	98.1	82.8	91.0	113.2	103.3	105.3	99.8	120.1	101.7
7	95.6	96.9	78.8	87.4	111.2	101.4	106.3	99.5	118.6	101.1
8	88.4	89.0	72.7	82.1	105.6	92.8	100.8	91.0	117.3	100.7
9	92.0	96.2	79.6	97.7	108.7	97.8	108.5	101.9	108.1	94.6
10	93.9	95.3	76.0	84.1	110.3	103.9	108.5	95.8	100.0	96.4
11	92.2	94.1	79.8	85.6	110.9	100.8	106.6	95.9	99.2	96.2
12	89.4	90.9	73.6	84.0	109.6	96.8	102.8	94.7	96.1	92.6
14年1月	r 86.3	r 84.4	74.9	77.6	r 92.5	r 84.5	r 95.8	r 85.3	r 88.9	r 95.5
2	P 92.2	P 89.8	P 81.4	P 83.0	P 98.0	P 93.7	P 103.1	P 92.4	P 99.8	P 95.3
3										
	対前年同期（月）上昇率（％）									
H10年	5.8	7.1	14.8	12.0	1.3	3.8	2.2	6.8	3.1	1.0
11	0.9	0.8	3.8	4.0	4.1	0.6	1.3	1.3	3.8	8.6
12	3.0	5.9	4.7	5.3	0.5	1.4	2.0	6.1	8.4	0.7
13	7.0	7.9	8.0	6.0	2.6	3.4	3.2	7.6	24.3	2.8
12年9月	2.4	4.0	13.2	3.2	0.6	0.3	1.6	4.4	3.7	0.2
10	4.8	6.7	12.7	8.0	5.0	3.2	2.6	6.2	3.7	2.1
11	0.3	3.7	4.9	8.6	2.7	0.9	3.8	3.0	8.2	1.5
12	4.3	4.1	21.2	8.0	2.4	0.3	4.0	4.0	14.9	2.3
13年1月	5.2	2.0	14.6	3.7	8.0	0.9	4.0	1.9	30.8	1.8
2	0.5	2.1	6.8	0.2	0.4	2.1	0.2	1.9	28.3	3.1
3	5.7	2.9	8.8	2.3	2.1	2.9	4.1	2.6	26.0	3.0
4	5.1	4.2	3.7	0.1	7.1	1.8	4.2	5.3	24.3	4.8
5	0.5	3.9	0.9	1.3	7.1	0.4	0.1	3.8	17.1	5.9
6	5.5	8.7	3.3	5.4	2.1	3.8	5.4	8.6	16.8	5.2
7	7.2	8.7	7.5	5.4	5.2	3.9	5.1	8.0	16.1	3.8
8	9.4	11.7	9.9	12.1	5.6	2.9	6.0	11.3	14.1	4.0
9	12.6	12.7	18.5	12.4	3.7	6.1	1.1	12.1	23.5	3.3
10	11.6	11.8	15.3	12.5	5.6	3.2	2.0	11.5	33.5	0.8
11	12.5	13.0	12.7	13.8	5.5	5.9	2.7	12.5	31.1	0.5
12	16.0	15.3	27.2	17.1	5.0	8.4	10.5	14.3	28.3	1.9
14年1月	8.0	11.5	8.4	12.7	0.9	4.2	1.2	10.6	26.0	3.7
2	6.3	11.3	10.5	16.8	7.4	5.0	0.9	10.5	10.9	5.5
3										
備考	原指数 平成7年 = 100									
資料 出所	県電子社会推進・統計室「鉱工業指数月報」 経済産業省									

rは訂正值、Pは速報値

区分 年月	11 大口電力使用量		12 大口電力 契約量	13 新規求人倍率		14 有効求人倍率	
	福島県	全 国	福島県	福島県	全 国	福島県	全 国
	(千kWh)	(百万kWh)	(kW)	(倍)	(倍)	(倍)	(倍)
H10年	4,459,474	258,248	1,197,593	0.92	0.92	0.57	0.53
11	4,587,953	256,891	1,197,182	0.89	0.87	0.51	0.48
12	5,002,712	266,707	1,226,599	1.09	1.05	0.65	0.59
13	5,046,831	259,858	1,259,922	0.87	1.01	0.54	0.59
12年9月	434,915	23,305	1,240,145	1.17	1.09	0.70	0.63
10	435,961	22,983	1,243,752	1.14	1.14	0.71	0.64
11	436,429	22,141	1,251,783	1.22	1.13	0.72	0.65
12	443,058	22,065	1,254,270	1.12	1.14	0.74	0.66
13年1月	422,842	21,164	1,256,811	1.14	1.11	0.71	0.65
2	413,065	20,860	1,263,425	1.05	1.09	0.68	0.64
3	441,527	22,104	1,267,198	1.05	1.06	0.66	0.62
4	407,467	20,980	1,262,355	1.00	1.07	0.63	0.62
5	408,458	21,261	1,265,048	0.95	1.07	0.61	0.62
6	435,646	22,472	1,264,528	0.90	1.06	0.57	0.61
7	456,406	23,562	1,277,062	0.85	1.01	0.54	0.60
8	410,397	21,983	1,274,608	0.81	0.99	0.50	0.58
9	416,886	21,903	1,266,255	0.76	0.97	0.48	0.57
10	416,056	21,901	1,248,174	0.72	0.90	0.44	0.54
11	408,656	20,917	1,238,398	0.66	0.90	0.41	0.52
12	409,425	20,751	1,235,205	0.65	0.91	0.39	0.51
14年1月	393,276	19,838	1,233,051	0.73	0.85	0.39	0.51
2	396,846	19,774	1,230,761	0.79	0.88	0.40	0.50
3							
	対前年同期（月）上昇率（％）						
H10年	2.4	3.0	2.7	-	-	-	-
11	2.9	0.5	0.0	-	-	-	-
12	9.0	3.8	2.5	-	-	-	-
13	0.9	2.6	2.7	-	-	-	-
12年9月	8.1	1.5	3.7	-	-	-	-
10	10.2	2.6	3.8	-	-	-	-
11	12.6	2.8	4.6	-	-	-	-
12	12.9	2.6	4.7	-	-	-	-
13年1月	12.3	3.8	4.6	-	-	-	-
2	5.1	1.7	4.7	-	-	-	-
3	7.0	0.3	4.9	-	-	-	-
4	6.2	0.4	4.1	-	-	-	-
5	5.5	1.0	4.2	-	-	-	-
6	2.5	2.3	3.6	-	-	-	-
7	1.1	1.2	3.7	-	-	-	-
8	2.9	4.5	3.3	-	-	-	-
9	4.1	6.0	2.1	-	-	-	-
10	4.6	4.7	0.4	-	-	-	-
11	6.4	5.5	1.1	-	-	-	-
12	7.6	6.0	1.5	-	-	-	-
14年1月	7.0	6.3	1.9	-	-	-	-
2	3.9	5.2	2.6	-	-	-	-
3				-	-	-	-
備考	県は東北電力、国は電力10社計 契約量の年値は、月平均値			新規、有効求人倍率の年値は原数値、各月値は季節調整値			
資料 出所	東北電力福島支店 電気事業連合会			福島労働局職業安定部 厚生労働省			

区分 年月	15 有効求人数		16 有効求職者数		17 雇用保険受給者実人員		18 現金給与総額 指数(名目)	
	福島県	全 国	福島県	全 国	福島県	全 国	福島県	全 国
	(人)	(千人)	(人)	(千人)	(人)	(千人)		
H10年	19,786	1,265	33,523	2,395	16,244	1,021	101.4	101.4
11	18,595	1,207	36,783	2,530	17,401	1,073	98.3	100.1
12	23,413	1,473	35,986	2,507	16,193	1,038	100.0	100.6
13	21,956	1,534	40,363	2,598	17,937	1,080	100.7	99.4
12年9月	26,023	1,591	35,224	2,433	15,810	1,055	83.9	81.5
10	26,678	1,653	35,504	2,458	16,084	1,064	84.5	81.9
11	26,706	1,615	33,708	2,362	15,754	1,038	84.4	84.7
12	24,486	1,517	32,278	2,288	15,130	1,000	186.4	190.1
13年1月	24,785	1,556	34,469	2,417	15,088	1,003	86.1	87.5
2	24,233	1,633	34,344	2,442	15,326	993	83.4	80.3
3	25,543	1,774	36,448	2,593	15,117	973	90.1	85.9
4	23,918	1,706	40,697	2,810	15,656	984	83.4	82.6
5	23,165	1,545	41,924	2,761	17,635	1,090	82.3	81.1
6	20,950	1,457	41,193	2,638	17,419	1,073	142.8	137.4
7	21,067	1,453	41,231	2,580	19,033	1,138	108.7	121.8
8	20,477	1,477	40,924	2,553	19,271	1,167	91.9	87.1
9	20,643	1,515	41,381	2,545	19,150	1,125	82.8	80.1
10	21,156	1,530	44,445	2,672	20,618	1,166	83.8	80.5
11	20,151	1,455	44,305	2,616	20,404	1,138	82.9	83.2
12	17,386	1,310	42,994	2,546	20,521	1,112	190.2	182.2
14年1月	17,591	1,368	44,841	2,715	21,252	1,136	82.2	83.5
2	18,037	1,437	43,949	2,725	20,606	1,101	80.8	79.0
3								
	対前年同期(月)上昇率(%)							
H10年	20.3	15.3	17.8	15.6	21.5	16.8	3.1	1.9
11	6.0	4.6	9.7	5.6	7.1	5.1	3.1	1.3
12	25.9	22.0	2.2	0.9	6.9	3.3	1.7	0.6
13	6.2	4.1	12.2	3.6	10.8	4.0	0.7	1.1
12年9月	26.3	27.7	4.5	2.0	13.6	6.2	3.2	1.0
10	30.1	30.3	3.3	0.9	8.7	3.0	1.8	1.0
11	31.0	29.0	6.7	2.2	10.2	4.2	2.4	0.8
12	30.2	30.0	5.2	1.8	10.3	5.2	4.4	0.8
13年1月	24.3	25.1	4.5	2.1	8.4	3.0	4.1	1.4
2	17.0	19.9	1.9	2.3	7.4	4.4	2.1	0.4
3	13.0	14.7	0.2	0.7	4.2	2.2	3.8	0.3
4	6.3	13.7	4.1	1.8	1.9	0.4	0.4	0.0
5	4.8	12.1	7.7	2.8	6.4	7.4	2.0	0.1
6	5.6	6.0	9.4	2.2	5.0	2.0	3.3	0.9
7	7.0	4.2	13.6	4.1	14.8	7.0	4.9	0.5
8	16.0	1.1	14.6	3.9	13.1	4.7	0.9	2.0
9	20.7	4.8	17.5	4.6	21.1	6.6	1.3	1.2
10	20.7	7.4	25.2	8.7	28.2	9.6	0.8	1.2
11	24.5	9.9	31.4	10.8	29.5	9.6	1.8	1.3
12	29.0	13.6	33.2	11.3	35.6	11.2	2.0	3.6
14年1月	29.0	12.1	30.1	12.3	40.9	13.3	4.5	4.0
2	25.6	12.0	28.0	11.6	34.5	10.9	3.1	1.1
3								
備考							全産業5人以上 平成12年=100	
資料 出所	福島労働局職業安定部 厚生労働省						県電子社会推進・統計室「毎月勤 労統計調査結果速報」厚生労働	

区分 年月							物価			
	19 所定外労働時間指数		20 常用雇用指数		21 パートタイム 労働者比率		22 卸売物価 指数	23 消費者物価指数		
	福島県	全 国	福島県	全 国	福島県	全 国	全 国	福島県	全 国	
H10年	104.2	97.3	101.4	100.5	12.6	16.3	97.5	100.8	101.0	
11	92.2	95.8	100.5	100.2	15.8	19.5	96.1	100.5	100.7	
12	100.0	100.0	100.0	100.0	15.4	20.2	96.1	100.0	100.0	
13	94.3	96.3	97.6	99.8	15.7	21.0	95.3	99.3	99.3	
12年9月	104.0	100.0	99.9	100.1	15.3	20.4	96.3	99.8	100.0	
10	103.8	102.1	100.0	100.0	15.5	20.5	95.9	99.9	100.0	
11	104.8	105.2	99.9	100.2	15.2	20.6	95.9	99.5	99.7	
12	103.5	106.3	99.5	100.2	16.0	20.7	95.9	99.8	99.8	
13年1月	96.4	96.2	97.3	99.6	13.7	21.0	95.7	100.1	99.8	
2	101.1	99.3	97.7	99.3	14.7	21.0	95.7	99.8	99.5	
3	108.1	104.5	97.6	99.0	14.4	20.9	95.6	99.7	99.3	
4	104.9	101.5	98.0	99.9	14.9	20.6	95.5	99.6	99.5	
5	88.7	94.3	97.6	100.0	15.2	20.7	95.5	99.8	99.6	
6	89.6	94.4	97.6	100.2	15.1	20.7	95.4	99.2	99.3	
7	92.3	94.4	97.7	100.3	16.0	20.9	95.5	98.7	99.0	
8	86.2	91.5	97.4	100.1	16.9	21.1	95.4	99.2	99.4	
9	88.1	92.5	98.0	99.9	16.7	21.1	95.2	99.0	99.2	
10	90.9	94.6	97.7	99.9	16.6	21.0	94.8	99.2	99.2	
11	92.7	95.8	97.9	99.9	17.3	21.2	94.6	98.5	98.7	
12	92.6	96.8	97.3	99.9	16.4	21.5	94.6	98.5	98.6	
14年1月	83.3	89.9	96.7	99.2	15.7	21.8	94.4	98.5	98.4	
2	88.5	93.9	96.6	99.0	16.9	21.8	94.5	97.9	97.9	
3							94.4			
	対前年同期（月）上昇率（％）						対前年同期（月）上昇率（％）			
H10年	1.6	9.7	1.0	1.2	-	-	1.6	1.1	0.6	
11	11.5	1.5	0.9	0.3	-	-	1.5	0.3	0.3	
12	8.5	4.4	0.5	0.2	-	-	0.1	0.5	0.7	
13	5.7	3.7	2.4	0.2	-	-	0.9	0.7	0.7	
12年9月	13.4	5.0	0.4	0.2	-	-	0.1	0.9	0.8	
10	6.1	3.9	0.3	0.1	-	-	0.2	0.5	0.9	
11	4.1	3.7	0.9	0.0	-	-	0.2	0.5	0.5	
12	6.2	3.8	1.5	0.1	-	-	0.2	0.0	0.2	
13年1月	4.7	3.1	3.1	0.1	-	-	0.4	0.1	0.3	
2	3.1	1.8	2.1	0.1	-	-	0.4	0.1	0.3	
3	4.8	0.2	1.3	0.2	-	-	0.6	0.4	0.7	
4	1.9	2.2	2.7	0.2	-	-	0.7	0.7	0.7	
5	4.2	1.5	2.6	0.2	-	-	0.6	0.6	0.7	
6	5.1	2.4	2.7	0.2	-	-	0.7	1.0	0.8	
7	8.1	4.5	2.3	0.2	-	-	0.9	1.2	0.8	
8	14.0	4.6	2.7	0.2	-	-	1.0	0.9	0.7	
9	15.3	7.5	1.9	0.2	-	-	1.1	0.8	0.8	
10	12.4	7.3	2.3	0.1	-	-	1.1	0.7	0.8	
11	11.5	8.9	2.0	0.3	-	-	1.4	1.0	1.0	
12	10.5	8.9	2.2	0.3	-	-	1.4	1.3	1.2	
14年1月	13.6	6.5	0.6	0.4	-	-	1.4	1.6	1.4	
2	12.5	5.4	1.1	0.3	-	-	1.3	1.9	1.6	
3					-	-	1.3			
備考	全産業5人以上 平成12年=100						(総平均) 平成7年=100	(総合) 平成12年=100		
資料 出所	県電子社会推進・統計室「毎月勤労統計 調査結果速報」厚生労働省						日本銀行 「経済統計月報」	県電子社会推進・統計室「福島県消 費者物価指数」総務省		

区分 年月	企業・金融									
	24 企業倒産				25 金融機関預貸残高				26 貸出約定平均金利	
	福島県		全 国		福島県		全 国		福島県	全 国
	件数	負債総額	件数	負債総額	金融機関 預金残高	金融機関 貸出残高	国内銀行 預金残高	国内銀行 貸出残高	地元地銀 3行	国内銀行
(件)	(百万円)	(件)	(億円)	(億円)	(億円)	(百億円)	(百億円)	(%)	(%)	
H10年	296	89,842	19,171	143,812	57,049	41,143	47,789	48,882	2.712	2.255
11	202	195,800	15,460	135,522	57,742	39,634	48,677	46,881	2.652	2.100
12	257	64,113	19,071	239,874	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116
13	289	214,959	19,441	162,130	57,283	40,033	48,617	44,822	2.262	1.880
12年9月	14	1,675	1,502	7,742	58,212	39,518	47,767	46,016	2.501	2.070
10	27	3,499	1,711	85,611	57,569	39,201	47,063	45,460	2.501	2.087
11	25	4,856	1,683	12,226	58,111	38,954	47,734	45,601	2.523	2.091
12	40	7,332	1,550	8,319	58,886	39,654	48,218	46,392	2.506	2.116
13年1月	25	118,508	1,358	9,696	57,808	38,870	47,858	45,850	2.509	2.106
2	17	11,363	1,448	11,153	57,970	39,985	47,723	45,701	2.442	2.092
3	22	4,597	1,703	23,668	57,158	40,315	47,686	45,697	2.454	2.047
4	29	18,249	1,631	10,480	58,158	40,687	48,758	45,006	2.355	2.017
5	20	12,516	1,724	10,215	57,420	40,038	48,489	44,559	2.335	1.990
6	22	5,345	1,563	6,907	57,979	39,861	48,237	44,729	2.322	1.950
7	30	14,668	1,567	7,470	57,231	39,464	47,888	44,543	2.340	1.936
8	34	10,922	1,612	7,355	57,102	39,333	47,748	44,400	2.330	1.925
9	23	6,238	1,568	30,013	57,484	39,559	48,079	45,056	2.330	1.896
10	29	5,033	1,911	10,710	56,757	39,503	47,674	44,375	2.287	1.898
11	19	4,446	1,851	18,821	57,146	39,543	48,207	44,320	2.268	1.898
12	19	3,074	1,505	15,641	57,283	40,033	48,617	44,822	2.262	1.880
14年1月	13	2,393	1,620	10,673	56,221	38,870	48,513	44,303	2.298	1.878
2	23	11,833	1,712	12,714	56,240	38,686			2.298	1.875
3	13	4,017	1,788	20,418						
対前年同期(月)上昇率(%)										
H10年	37.0	126.0	17.1	2.6	1.5	0.5	0.7	0.9	-	-
11	31.8	117.9	19.4	5.8	1.2	3.7	1.9	4.1	-	-
12	27.2	67.3	23.4	77.0	2.0	0.1	0.9	1.0	-	-
13	12.5	235.3	1.9	32.4	2.7	1.0	0.8	3.4	-	-
12年9月	0.0	20.1	9.5	17.6	2.8	0.6	0.7	0.9	-	-
10	22.7	38.6	22.7	1,253.4	1.6	0.2	2.5	2.0	-	-
11	56.3	97.4	22.7	199.3	1.9	0.1	1.5	1.1	-	-
12	100.0	151.5	0.2	111.9	2.0	0.1	0.9	1.0	-	-
13年1月	25.0	5,378.9	5.8	60.6	1.9	1.4	1.1	0.9	-	-
2	21.4	524.0	0.3	7.6	2.1	0.1	0.2	1.2	-	-
3	29.4	62.4	3.8	265.9	0.6	0.9	1.0	1.4	-	-
4	11.5	109.6	4.4	10.8	0.0	2.5	0.4	1.6	-	-
5	42.9	508.8	12.8	39.1	1.1	3.6	1.5	1.5	-	-
6	37.5	81.2	0.2	63.2	1.9	3.0	2.4	1.3	-	-
7	66.7	287.7	3.1	82.5	2.4	1.1	1.7	2.0	-	-
8	30.8	16.2	5.4	46.6	2.5	0.5	1.1	2.2	-	-
9	64.3	272.4	4.4	287.7	1.3	0.1	0.7	2.1	-	-
10	7.4	43.8	11.7	87.5	1.4	0.8	1.3	2.4	-	-
11	24.0	8.4	10.0	53.9	1.7	1.5	1.0	2.8	-	-
12	52.5	58.1	2.9	88.0	2.7	1.0	0.8	3.4	-	-
14年1月	48.0	98.0	19.3	10.1	2.7	0.0	1.4	3.4	-	-
2	35.3	4.1	18.2	14.0	3.0	3.2			-	-
3	40.9	12.6	5.0	13.7					-	-
備考	負債総額1,000万円以上				年・月末残高 県の預貸残高は銀行・第2地銀 ・信用金庫の計 国の預金残高は実質預金				(総合) 年・月末残ベース	
資料 出所	帝国データバンク				県、国ともオフショア勘定を含む 日本銀行福島支店「福島県金融経済概況」 日本銀行「経済統計月報」					

区分	27 中小企業業況判断DI						市場			
	福島県						28 株式		29 円相場	
	年月	全産業	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	株価	出来高	インターバンク相場 (東京市場) 中心値平均 (円/米ドル)
								東証株式 (第1部) (円)	東証株式 (第1部) (100万株)	
H10年	-	-	-	-	-	-	15,359.83	121,595	130.90	
11	-	-	-	-	-	-	16,788.51	141,200	113.91	
12	-	-	-	-	-	-	17,160.77	169,600	107.77	
13	-	-	-	-	-	-	12,102.37	199,533	121.53	
12年9月	19.6	8.4	43.5	29.4	32.3	15.5	16,168.29	12,274	106.75	
10	19.8	2.7	51.0	40.5	47.3	5.8	15,311.70	11,353	108.37	
11	24.4	14.2	62.3	31.0	36.7	0.0	14,760.87	11,821	108.89	
12	24.7	13.2	64.7	25.0	40.6	4.3	14,409.74	13,964	112.21	
13年1月	40.7	32.2	53.2	46.9	55.6	32.7	13,720.95	12,218	117.10	
2	38.0	40.1	53.7	24.1	48.1	15.8	13,266.27	13,561	116.04	
3	43.3	48.7	68.9	44.3	38.0	14.3	12,708.47	19,202	121.12	
4	45.5	43.1	72.0	43.8	49.4	28.3	13,411.84	20,053	123.83	
5	48.3	47.5	61.5	46.0	58.0	32.0	13,975.55	18,178	121.93	
6	54.2	54.4	69.6	52.3	63.5	31.7	12,974.89	17,466	122.15	
7	54.2	58.6	54.0	49.2	62.9	36.4	12,151.11	14,093	124.68	
8	57.8	60.4	70.6	51.6	59.6	44.3	11,576.21	17,063	121.61	
9	61.0	64.3	73.2	60.6	56.8	46.4	9,996.83	16,003	118.98	
10	64.2	65.1	68.6	58.3	69.8	57.7	10,438.90	17,272	121.28	
11	63.9	69.5	73.5	51.6	60.0	56.5	10,511.22	16,428	122.31	
12	65.2	68.7	59.2	61.7	64.5	61.6	10,496.20	17,996	127.36	
14年1月	64.5	66.1	65.3	53.0	75.9	56.6	10,300.79	14,641	132.66	
2	61.7	60.6	68.6	57.3	68.1	56.1	9,981.65	16,456	133.52	
3	51.0	46.5	62.3	56.1	55.4	46.8	11,448.80	20,601	131.20	
H10年	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12年9月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13年1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14年1月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
備考	前年同期(月)比で「良い」-「悪い」社数構成比(各月末時点)						日経平均 (225種)	売買株数	直物相場	
資料 出所	県産業振興センター						日本経済 新聞社	東京証券 取引所	日本銀行	

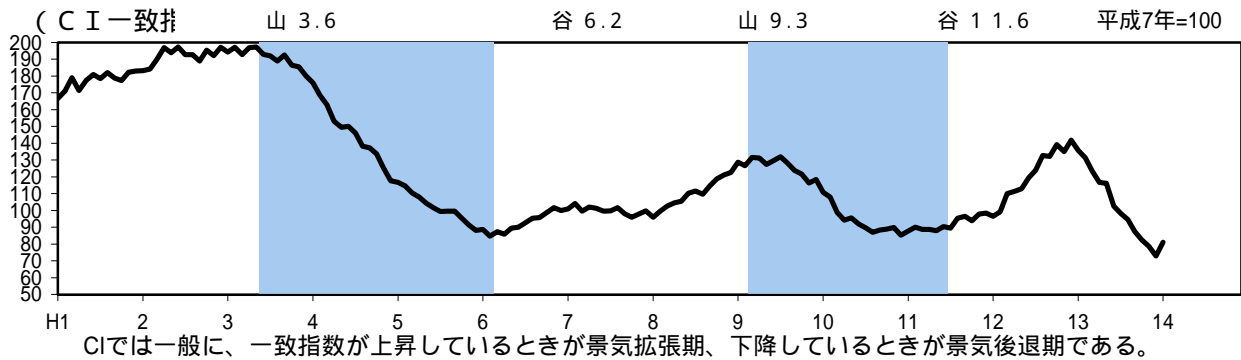
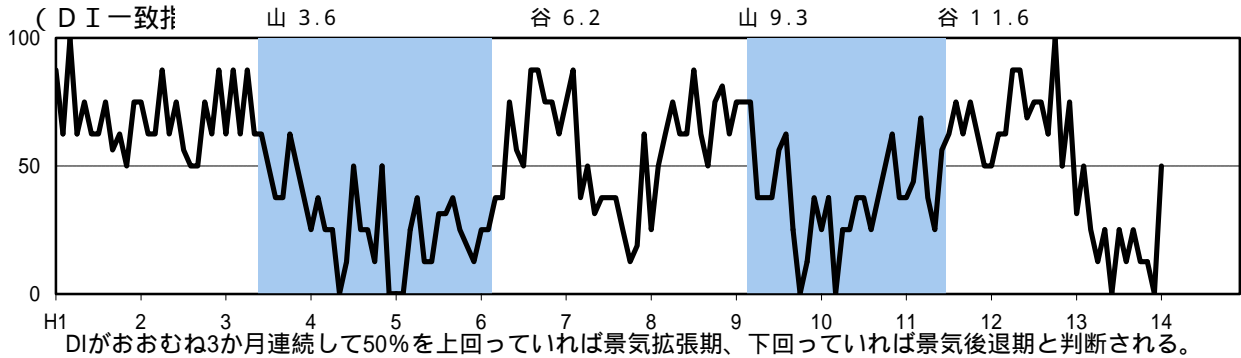
3 景気動向指数（福島県）

1月の景気動向指数は、先行指数66.7%、一致指数50.0%、遅行指数16.7%となった。

先行指数は、15か月ぶりに50.0%を上回った。

一致指数は、10か月連続で50.0%を下回った後、50.0%となった。

遅行指数は、17か月連続で50.0%を下回った。



DI表

区分	景気動向指数					
	福島県			全国		
年月	先行指数	一致指数	遅行指数	先行指数	一致指数	遅行指数
12年9月	77.8	62.5	0.0	50.0	54.5	42.9
10	77.8	100.0	28.8	50.0	72.7	71.4
11	22.2	50.0	28.6	33.3	36.4	57.1
12	50.0	75.0	14.3	41.7	81.8	71.4
13年1月	33.3	31.3	21.4	16.7	45.5	28.6
2	33.3	50.0	42.9	8.3	9.1	57.1
3	38.9	25.0	42.9	8.3	9.1	35.7
4	33.3	12.5	28.6	41.7	18.2	28.6
5	33.3	25.0	14.3	58.3	27.3	28.6
6	22.2	0.0	28.6	16.7	18.2	28.6
7	44.4	25.0	42.9	29.2	9.1	71.4
8	27.8	12.5	28.6	33.3	0.0	42.9
9	22.2	25.0	28.6	25.0	9.1	28.6
10	22.2	12.5	14.3	0.0	9.1	28.6
11	27.8	12.5	42.9	0.0	18.2	14.3
12	22.2	0.0	14.3	41.7	27.3	28.6
14年1月	66.7	50.0	16.7	P 60.0	P 10.0	P 16.7
2				P 66.7	P 33.3	P 16.7
採用指標数	9指標	8指標	7指標	12指標	11指標	7指標

資料 県：電子社会推進・統計室「福島県景気動向指数」 rは訂正值、Pは速報値
出所 国：内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」

一部の計数は速報値を用いており、確報訂正により、前回発表の計数と相違する場合がある。

福島県の遅行指数は一部指標の基準年変更による遡及改訂を行っている。

製造業

弊社としては、昨年より売上高上昇に上向いているが、全国的には悪化している。資金繰りについては、銀行関係が厳しくなっているため、社債を発行したが、予想以上に応募者が多かった。債券については銀行利子よりも安いので一石二鳥であった。【食料品】

スーパーから仕入先の売れ残り商品の押し込み販売が横暴である。【食料品】

諸税制(特に相続税関係)が日本の家族制や風土に合わないと思う。都市部の土地は維持できないのに、中心市街地活性化法案など全くおかしいと思う。【酒造】

輸入品(主に中国)との競合が激化している。当業界輸入品の国内浸透率は80%とも言われている。【繊維】

輸入を何とかしてほしい。【繊維】

春物の受注は予想外に増えたが、採算を好転させるにはまだまだで夏物が勝負です。【縫製】

金融機関の対応の悪さに頭にきます。生き残れる企業も持ちこたえられなくなります。【縫製】

政府の経済対策は無能である。対外よりも国民のための政治を願う。【木材・木製品】

売上面で前年同月と比べると多少良化したが、数カ月先の予想が明確にできない(個人消費)ので不安である。【木材・木製品】

1カ月先の予想もつかない状況にある。1カ月を過ぎるのでいっぱいいっぱいになっている。【木材・木製品】

年度末需要に自費出版の書籍の売上が変わったため、3月期は前年対比増となったが、一般需要の受注は冷えている。【印刷】

13年度出荷は当初予想を上回ったものの、今後公共工事の減少による落ち込みは避けられそうもなく、公共工事の早期発注を要望するとともに、資金繰りも融資においても配慮いただきたい。【窯業・土石】

いつまで続けられるか先行き不安。【鉄鋼・非鉄】

新規の仕事(フリーアクセス工事等)の受注が決まりそうなので、新しい展開が期待できそうです。【金属】

見積り依頼価格が、中国価格を基準に近づけるよう要請されている。仕事量確保のため、中国価格に近づけた見積り書を出し、受注につなげているが採算が合わない。給与、賞与引き下げ検討中。流れが中国であり、国内においても競争激化のため引き続き苦戦。【精密機器】

受注は増えているが利益がない。【精密機器】

得意先の仕入(検収)ができていないので在庫が増えている。ISOを公認しているにも拘わらず。【プラスチック】

建設業

再度、設計労務費が下がり、オペレーター及び作業員の給与をカットしなければなりません。【土木】

現在、H6年頃の受注ピーク時の約半分の受注高で下請けを増やしてやっと食べている。この先、現在の2/3~1/2の工事になったら食べないと思う。【土木】

借入条件が厳しく、新規借入は無理な状況。【土木】

業種的に不況業種であることから、資金借入環境も当然厳しい状況です。【建築】

この不景気は例年この時期にある機械設備のメンテナンス業務の作業予定さえも計画されていない。このことは市場で話されているより、各企業は更に厳しい状況を

想定しての引き締めと思われる。【建築】

卸売業

地元異業種の方々は一様に価格下落を嘆いているが、弊社は価格競合商品については以前より力点を置かず。【衣服】

スーパー向け商品の価格競争が激しくなっている。売上代金入金の遅れや未回収も増加しつつある。【飲食物料】

公共事業の減少で先行きが見えない。【建築材料】

業界全体として、販売動向が悪い。【建築材料】

結婚式の返礼(オーダーシステム)内祝(商品券)退職記念は予算の関係上少ないようです。【その他】

小売業

今春は残雪が多く釣り客も山菜取り客も余り期待ができません。1人でも多くの尾瀬客を望んでいます。【中小スーパー】

スーパー業界は、デフレの他競合激化でチラシ合戦を展開している。お客様個別の情報(顧客識別能力)を持たずに、大企業と力づくの競争は長く継続不可能で敗退するのは時間の問題。【中小スーパー】

衣料の小売業ですが、チラシなどで超特安値を出しても全然お客様の反応がありません。【衣料】

率直な経営者の苦言集を作って実態を見てほしい。机上論ではなくて。【自動車販売】

プラスの心で生きること、意識してプラスの言葉を使うことで積極性が育まれる。企業を活性化するもしないもトップの姿勢、つまり心次第だと思います。心の時代...爽やかに希望を持って好転に向かって努力したいと思っています。【家具・建具】

消費マインドは依然低迷状況で、生活防衛型である。【大規模店】

販売単価はまだ継続して前年を割ると思う。一部の企業はリストラ効果が出ていると思われるが、消費環境は雇用改善があまりにもよくないので継続して悪い状況が続くと思われる。競合店の撤退で数値を維持している面もあるように思われる。【大規模店】

小売物販業特に商店街、客足少なく売上伸びず。【その他】

季節要因が買い控え疲れが不明だが、3月は好調な売上である。【その他】

サービス業

2年前の同業会社の大型倒産発生後、今また中堅クラスの経営行き詰まりが進行中であることを密かに情報入手。【観光旅館】

会津地区は他地区に比べ非常に悪い。金融機関の貸出環境も、全て県の信用保証協会付でない融資しないような環境にあり、金融機関として地域の役割を失っている。【タクシー】

デフレ下で需要が縮小し乗務員にも焦りが見受けられる。事故の多発など乗算的な経営への影響が懸念されます。【タクシー】

輸送運賃の見直しで各社より値引きの要請がきている。【運送】

今年度は商品(自社開発アプリケーションソフト)のラインアップが整ったので、営業力を強化し業績アップを実現したいが、土木建設用のソフトなので業界自体が厳しいため、苦戦と共に価格崩壊に拍車が掛かる事が予想されます。【情報サービス】

5 中小企業景況レポート(平成14年3月分)

福島県中小企業団体中央会

食品製造業

乳製品：福島雪印牛乳(株)は国の乳業再編整備等対策事業(廃止工場対策事業)を活用し、平成13年度及び平成14年度の2年度で再編整備を行うことになった。

内容は、飲用部門の廃棄を実施し、飲用乳の製造を県内の東北協同乳業(株)と会津中央乳業(株)へ委託し、デザート(ヨーグルト、練乳、プリン)部門のみを存続させることにしたものである。

製造の委託は13年度中に行われ、設備の廃棄は14年度に行われる。

豆腐油揚：かなり暖かい日が続いて、湯どうぶ鍋物が少なくなり、そうかと云って冷奴には早く、売上ダウンとなった。油揚げ等、加工品も減少気味である。

パン：例年よりも10日も早い花便りが届き、暖かい陽気が続いているが、景気の方はまるで関係なく冷え込んだままであり、2月の倒産件数・金額とも史上最高と報じられると、首筋が寒くなるような気がする。ともあれ、細々と自分の殻に合わせて地道に努力して、その仲間入りをしないようにしなければと自戒しているのが現状である。

味噌醤油：JAS法改正、アレルギー表示が平成14年4月から完全実施されることになり、ラベルの表示問題の改善等が出てきている。味噌醤油のアレルギー物質は既に品質表示基準で、大豆、小麦等の表示しており問題はないが、二次加工品については、新しく表示されなければならなくなる。JAS法の表示違反がマスコミに報道され問題になっていることから、強調表示(特に産大豆使用、等々)には注意して表示するよう徹底した指導が望まれる。又、JAS法改正の新体制に移行することも組合員の負担増に繋がり、JAS認定工場辞退(返上)等が出てくることも考えられる。

市場価格の低下の傾向は歯止めがかからず、量販店の味噌醤油の安売りは、中小メーカーにとって大きな問題である。景気の回復の兆しが見えない状況の中でどの様にして生き残れるか不安な状況が続いている。平成14年4月から民営化へ移行される分野(塩の特定販売)もあることから、業界側にとって規制緩和どころか強化的な面が出てくる。5年に1度のJAS法の見直し問題もその一つであり、市場安定を目指すべく、味噌醤油のPR事業は業界総ぐるみで取り組むことが必須であると思う。

乾麺：大手流通は価格競争からPB商品による品質重視に移行している。消費増は見込めない時代は、価値を求める方向を見極めていようである。

清酒：課税数量の落ち込みは、多少の改善が見えるが、原価を度外視した乱売競争はますますエスカレートしており、そのため、県内業者の経営内容は非常に悪くなっている。

紙・紙加工品製造

紙器段ボール箱：受注産業にとっては景気の不透明度は増すばかり。こうした業界を取り巻く経営環境は依然好転を見せず。仕事がない、利益が出ないというところが大半を占めている。

木材・木製品製造業

製材業：(外材輸入) 全体的に需要及び供給が円安と重なり縮小、更に企業決算を控え、買い控えの中、荷動き価格共、2月に引き続き低調に推移している。

(郡山地区木材木工)郡山市小中学校、児童・生徒用机、JIS規格変更に伴い、平成13年度より4ヶ年にて入れ替え。地産地消の方針にて郡山市内産出の杉材を採用、市内木材関連組合にて業務分担し、製作。本年度(13年度)は7,652台納入。この形態は全県下にて検討中。

出版・印刷

印刷：年度末官需の増加により一部事業所で売上上昇に繋がった。全体的にはまだまだ需要不足であり、これは慢性的傾向である。設備過剰によるものと思われる。

新年度を迎えたが官公庁の予算の抑制、各種業界の事業縮小、閉鎖等も相俟って、ますます受注量が減少しつつある。反面、業種によっては変わらぬ需要が続いている部分もある。売上高は、対前月比増、対前年同月比同。

窯業・土石製品製造業

砕石：(いわき地区)年度末の工事の完了による増加で、リサイクル材が最多だった。4月より事業縮小(大手)の企業がある模様。

生コン：平成14年3月の出荷額は157.7千立方メートルであった。公共工事の減少に伴い、生コンの出荷数量の減少が顕著である。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

各種プラント機器：3月度は、前月に比べて新年度の予算取りのため、引き合い件数は増加している。前年の3月比では横這い。民間設備投資は低迷している。

電子工業：社員募集について変化が出ている。

(1)パートタイマー募集は、今までは二次三次下請会社が主に実施していたが、現在はメーカ自身が、安いパートタイマーの活用を計り、その影響は二次三次下請に止まらず、人材派遣業等にも影響が出ている。

(2)一部ではあるが、受注工賃に合わせてパート給を変動させる企業あり。

精密機器：年度末の為、公共事業の関係で売上増

加。

卸売業

卸売業：(県中地区) 好天候の影響で、春物の売行きが良かった。生活防衛意識が末端まで浸透しているが、低価格でも陳腐な物、質の落ちる物は売れない。

(県南地区) 取引先の受注の減少等により売上高、収益状況は悪い。景況は依然として悪いが、各企業とも廃業、倒産もなく、よく持ち堪えている。資金繰り悪化の企業が散見される。銀行の貸し渋りが目立つ。

再生資源：3月に入り、鉄・非鉄屑の価格は堅調に推移した。年度末による発生の若干増も寄与し、景況も部分的には改善された。しかし、古紙の価格については、県内各地で大きなアンバランス状況にあり、低価格地区の回収業者は益々厳しい局面にある。

肥料卸：3月も高い気温が続く、農作業が平年に比べ半月早まったことから、肥料の取引も前半に集中した。また、メーカーの状況も15%増とやや増加した。

小売業

石油：3月、元売りによる仕切上1円/リットルが実施された。しかしながら小売価格へのマージン転嫁は遅れている状況にあり、決算期を迎える企業においては前年度以上に厳しい内容になると思われる。

米穀：相変わらず一般消費者需要は低調のうちに推移している。市況全体としては社会的不況の気運が強く、業界全体に影響、売上高の減少、併せて利益率も大幅に低下しており、専門店としての経営は大変苦しくなっている。

商店街

福島市：消費者の低価格指向、郊外店への流出が止まらない中、入進学、就職等、新学期商戦も盛り上がりながら低調のまま終わりそうである。

郡山市：年度替わりということもあり、前月よりは売上高が若干アップしたが、実感として低調に推移した。

会津若松市：空店舗が少しずつつまってきた。

いわき市：平一丁目再開発ビルが間もなく完成！工事関係者や入居者等による、街来が多数見られ、食品、飲食に接客数の増加が認められる。

原町市：今月こそ、来月こそとの意気込みで毎月の計画を立て、頑張るも成果の方は逆!! 組合のイベントにも陰りが見られるようになり、新年度に向け良い企画がないものかと思う。

サービス業

クリーニング：関東地区は3月16日~集中して始まった様だが東北での出足を感じるのはいくらか先のように思える。しかし店舗格差があり、一方が

多忙になっても、全てが一斉に忙しくなったとは言えない所もある。当組合は1月2月の売上減がひびき悪化。

旅館業：(土湯温泉)暖冬であったため、日帰り入浴客は増加している。しかし宿泊客の増加には繋がっていない。(収益は好転せず)大きな旅館は代理店を通じてそこそこ入っているが、老朽化した中小旅館は厳しい。お客様は差別化された旅館を求めようになり、単純な旅館経営には人気がない。インターネットによる予約が急増している。

建設業

建設業：(県一円) 今年度当組合の実績は、やはり公共工事の減少にて、資材の共同購買は15%減少、債権譲渡による融資は逆に増えている。

当組合で訪問介護員養成研修会(2級)を実施し、157名(一部若干遅れるが)資格を取得した。(県南地区) 8.27 災害の復旧工事、隅戸川、谷津田川、堀川の三河川の概ね最終発注があった。工事にかかるのは一部4月から出来るが大半は夏頃に着工となる。

電気工事：ニュース等では下げ止まりなど報じているが、いわき地方は未だ悪化の一途をたどっている。これからを期待している。

管工事：各事業、低調の中、排水設備関係(下水道関係)は年間で前年度実績を微増ではあるが上回った。既存住宅の浄化槽から下水道への切替の増加と考えられる。(福島市)

運輸業

トラック運送：(県北地区) トラック運送業界は、季節的な要因から先月よりは一般貨物の運送量は伸びているものの、昨年同月比では横這い。相変わらず運賃が低下し、荷動き回復の兆しは見られない。早急かつ抜本的な景気浮揚対策を強く望む。

ハイヤータクシー：改正道路運送法施行後2ヶ月を経るが、一部の会社で若干の増車があったほかは(他区域からの参入など)、今のところ動きは見られない。

暖冬気味の季節要因もマイナスして業況は厳しいが、社内での合理化促進や日常的な乗務員指導、訓練が地味ながら続けられている。

参考

1 「福島県金融経済概況」

平成14年4月1日 日本銀行福島支店

(一部に改善の兆しがみられるが、なお全体としては悪化しつつある)

県内景気は、減産緩和の動きが拡がりつつあるなど、明るい動きもみられるが、雇用情勢の悪化が続いているほか、個人消費等も低調に推移するなど、全体としてはなお悪化しつつある。

すなわち、企業の生産レベルは、国内設備投資向けの需要の減少等から減産を続ける先が多く、全体では低水準を継続している。しかしながら、海外景気の持ち直しや在庫調整の進捗等から減産緩和の動きが徐々に拡がりをみせている。

一方、住宅投資は減少傾向にあるほか、公共投資も総じて減少基調にある。更に、個人消費は、雇用・所得環境の悪化から大型小売店売上げが前年割れを続けているなど低調に推移している。この間、設備投資は前年比減少を続けている。

雇用情勢については、抑制的な生産継続等から雇用調整の動きが続いているなど悪化している。

2 「月例経済報告」

平成14年4月10日 内閣府

(我が国経済の基調判断)

景気は、依然厳しい状況にあるが、底入れに向けた動きがみられる。

- ・設備投資は、大幅に減少している。失業率が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しい。
- ・個人消費は、横ばいとなっている。
- ・輸出は下げ止まってきている、業況判断は、大企業においては下げ止まりの兆しがみられる。
- ・アメリカの景気回復の動きが、製造業を中心とした世界主要経済の生産回復につながりつつある。

先行きについては、厳しい雇用・所得環境などが、今後の民間需要を下押しする懸念がある一方、対外経済環境の改善や在庫調整の進展が、今後の景気を下支えすることが期待される。

(政策の基本的態度)

政府は、構造改革を断行する一方で、デフレスパイラルに陥ることを回避するために細心の注意を払い、日本銀行と一致協力して、デフレ阻止に向けて強い決意で臨む。

平成14年度予算の成立を受け、これと平成13年度補正予算を一体として切れ目なく実施していく。

利用の手引き

1 はじめに

県内経済の動きについては、「福島県景気動向指数」を昭和60年から毎月発行して、景気の拡張・後退局面及び山・谷の基準日設定などの統計指標を提供してきました。我が国経済が低成長期に入り、よりコンパクトで全体像が把握できる統計指標への要望が高まってきましたので、関係機関の御協力もいただき、「最近の県経済動向」を平成6年4月より毎月発行しております。

今後さらに内容の充実をめざしていきたいと考えていますので、ご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

2 しくみ

「最近の県経済動向」では、本県経済の動向の判断に役立つように、マクロ的（巨視的）観点で簡潔に概況を述べるよう努めています。代表的な経済指標については、経済統計上の重要性、速報性に着目して29の指標を選び、全国比較もできるようにしています。

また、景気動向指数の要点をグラフで示すとともに、参考として、日本銀行福島支店の「福島県金融経済概況」、内閣府の「月例経済報告」を取り上げました。

部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所	部 門	個 別 指 標 名	資 料 出 所
個人消費	大型小売店販売額	経済産業省	雇用・労働	有効求人数	福島労働局職業安定部 厚生労働省
	乗用車新規登録台数	自動車販売店協会 軽自動車協会		有効求職者数	
建設需要	新設住宅着工戸数	国土交通省		雇用保険受給者実人員	
	公共工事請負金額	保証事業会社協会		現金給与総額指数	県統計調査課 厚生労働省
	業務用建築物着工棟数	国土交通省		所定外労働時間指数	
生産活動	鉱工業生産指数	県統計調査課 経済産業省		常用雇用指数	
	投資財生産指数		パートタイム労働者比率		
	消費財生産指数		物価	卸売物価指数（総平均）	日本銀行
	鉱工業出荷指数			消費物価指数（総合）	県統計調査課 総務省
	鉱工業在庫指数	企業・金融	企業倒産件数・負債総額	帝国データバンク	
	大口電力使用量		金融機関預貸残高	日本銀行福島支店 日本銀行	
	大口電力契約量			貸出約定平均金利	
雇用・労働	新規求人倍率	福島労働局職業安定部 厚生労働省	中小企業業況判断DI	県産業振興センター	
	有効求人倍率		市場	株式	日本経済新聞社 東京証券取引所
				円相場	日本銀行